

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議でのご家族や委員の方からの具体的助言が少ない	入居者とご家族及び委員の皆さんと、事業所側相互の話し合いの場とする	① 11月の会議において、外部評価について説明し、事業所からの状況報告に優先し、話し合いの場としての会議開催を提案する ② 司会進行の手順を作成する	3～5ヶ月
2	6	離苑や転倒のリスクを避ける為の守り体制を優先する傾向、拘束の実態がある	「禁止の対策となる具体的な行為」について再確認を行い、さらに拘束をしないケアに繋げていく	① 現在の「拘束の実態」を明らかとし評価する ② 拘束を考える会や部会等において提案、相談を行い、評価する	5～9ヶ月
3	35	災害対策として地域への協力をお願いしているが現在、事業所として役割は荷っていない	① 地域の避難場所として事業所の建物及び、駐車場を提供する ② 備蓄については担当者を決め管理する事で緊急時の安心につなげる	① 11月の運営推進会議において、主旨を説明する ② 備蓄品目の見直し ③ 備蓄量の見積りと定期的消費・時期の取り決め	5～7ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。